



～富田っ子 みんな ダイヤモンド(かがやく)

# 富田っ子だより 第12号

富田小学校 学校通信  
令和4年9月5日

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

4月19日に6年生を対象に行われた「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。

教科及び質問紙の結果から見えてきた本校の子どもたちの強みや弱み、弱みを克服するための改善策等について、概要をまとめましたのでご覧ください。

なお、この調査は、学力の特定の一部であり、学校の教育活動の一側面であることをご理解ください。また、この結果が「あゆみ」(連絡表)に反映されることはありません。

### 結果概要について

今年度は、3教科に関する調査(国語、算数、理科)と質問紙調査でした。

教科正答率の概要 < 全国平均と比較 >	
±1.0 未満	「ほぼ同じ」
±1.0 以上 3.0 未満	「やや高い」「やや低い」
±3.0 以上	「高い」「低い」

#### (1) 教科の傾向

- ・3教科(国語・算数・理科)とも正答率は、三重県並びに全国平均を上回りました。
- ・正答数分布図に上位層が多く下位層が少ないことから、一定の基礎学力が定着している状態です。
- ・無解答率が国語、算数、理科とも全国平均より低く、最後まで問題に向き合って解こうとする意欲が高いです。

#### 国語 全国平均と比較して「高い」結果でした。

「話すこと・聞くこと」分野においては、一定の基礎学力が定着している。

- ・必要なことを質問して話の中心を捉えることはできている。
- ・新しく学習指導要領で示された「相手とのつながりをつくる言葉の働きを捉える」ことに若干の課題がある。

(例)「確かに」「なるほど、いいアイデアですね」のような発言した理由を選ぶ設問「書くこと」

- ・自分の考えをまとめて、制限時間内で記述する力がまだ十分ではない。



#### <対応>

今後、国語の授業を中心に、異なる意見を自分の考えに生かしてまとめる活動「～という考えもあるけれど」「～という意見もあったが」などの表現を用いることができるように指導していきます

また要旨をまとめたり要約したりする中で、重要な言葉を見つけて文章に入れられるようにしたり、条件に合った文章が字数制限内に書けるように、継続して取り組んでいきたいと考えています。

#### 算数 全国平均と比較して「高い」結果でした。

「数と計算」「図形」「データの活用」分野においては、一定の基礎学力が定着している。

- ・表の意味を理解して、設問の求めている数値を見つけることはできている。
- ・図形学習において、自分の考えた経過を筋道立てて記述する力が十分ではない。

「変化と関係」

- ・2つの数量関係について考察することに課題がある。(例)果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの果汁の割合を選ぶ設問



<対応>

今後、算数の図形学習では、作図の仕方を考えたり、その仕方を筋道立てて説明したりすることを授業で、これまで以上に取り入れていきます。

割合の設問を日常生活の場面に合わせて出題して、図や式を用いて基準量と比較量の関係を説明できるように、指導していきます。

**理科 全国平均と比較して「やや高い」結果でした。**

「エネルギー」「物質」「地球」分野において、一定の基礎学力が定着している。

「生命」

- ・自然の事物・現象を分析・解釈する設問に課題がある。(例) 昆虫観察において、昆虫の幼虫時や成虫時の食べ物に関する設問



「地球」

- ・水が水蒸気になって空気に含まれていることを日常生活に関連して、理解することに課題がある。

<対応>

今後は観察・実験結果を自分と友達の気づきをもとに分析して、それぞれの差異点や共通点を基にさらに問題を見出す活動を行っていきます。

「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか」の児童質問紙の肯定的な回答が全国平均より約20%も低い状態です。自然の事物、特に植物や昆虫などの小さな命のつながりにふれられる環境づくりや啓発活動を行っていきます。

<教科のまとめ>

本校では、算数において習熟度別少人数授業を3年生以上で実施しています。また高学年では理科社会・英語・体育などで教科担任制を取り入れています。(音楽、家庭などは専科) これらのことを含めて、今後も子どもたちの学習意欲が高まる手立てを継続、充実していきたいと考えています。

なお、ゲームプレイやスマホ利用時間が多めの子どもが見受けられます。ご家庭でのご指導も重ねてお願いします。

## (2) 学習状況調査から

ほとんどの質問項目において、全国平均と同程度の肯定的な回答割合である。多くの子どもたちが学校生活、家庭生活とも充実感や満足感を持っている。

自分で計画を立てて、家庭で勉強をしている児童も多く、学習習慣が身に付いている児童も多い。

コロナ感染防止のため、子どもたちが楽しみにしている地域行事、(含む学校)の縮小や中止の影響が回答に出ている。

(全国平均と比較 ○肯定的解答率が高い ▼低い ◇同程度)

- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 人の役に立つ人間になりたいと思う
- ◇困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- ◇人が困っている時、すすんで助けている
- ▼毎日同じ時刻に寝ている、起きている ・読書が好き
- ▼地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある

## (3) まとめ

今回の調査は、4月時点での現6年生を対象としたものです。

学年の特徴でもありますが、学校全体の傾向が表れている部分もあると言えます。これら結果の分析をもとに、今後の教育活動の一層の充実に取り組んでいきたいと考えています。学校教育活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、同時期に実施された「みえスタディチェック」において4年生(国語・算数)5年生(国語・算数・理科)においてもすべて正答率は、市内平均を上回る結果となりました。